OSAKA
SAKUYAHIME
AWARD

第５回 大阪サクヤヒメ表彰

受賞者一覧

今後のさらなる活躍が期待され、
後進のロールモデル（模範）となる女性リーダーたち

ロゴマークコンセプト
大阪を動かす原動力が集約し、未来を花咲かせる大阪商工会議所。そこで活躍する女性を表現するために、
「OSAKA」の「O（正円）」が集まって形づくられる花のモチーフをデザイン。
日本の伝統色である淡い桜色と濃いピンクで、しなやかさと力強さが調和している様を表現しています。

大阪商工会議所

大阪サクヤヒメ大賞

高橋（たかはし）　弘枝（ひろえ）

●公益社団法人大阪府看護協会　会長

1981 年大阪厚生年金病院に助産師として就職。1988 年大阪厚生年金看護専門学校で専任教員・教務部長。1991 年大阪厚生年金病院にて看護師長、副看護部長、看護部長を歴任。2016 年に公益社団法人大阪府看護協会会長及び日本看護協会地区理事に就任。主要な事業である教育研修の強化拡大に尽力し、特に全国の都道府県看護協会に先駆け特定行為研修教育機関を開設するなど社会のニーズにタイムリーに対応する事業展開を積極的に行う。2017 年より「看護・理工学・企業とのモノづくり」に参画し、看護現場の課題・ニーズを発掘し、大学や企業との協働推進を行う。大商が主催する「次世代医療システム産業化フォーラム（MDF）」に参画することにより、看護環境の改善や患者 QOL の改善に貢献している。新型コロナ感染症対応では、医療崩壊を防ぎ府民の命を守る使命のもと、宿泊療養施設及び検体採取外来のナース派遣に積極的に取り組んだ。各種メディアからの関心も高く、ホームページから国民へ多くのメッセージを発信する等、職能団体として評価を得ている。また看護管理に関する執筆や学会の座長・シンポジストなどの役割を担い、自己研鑽に努めると共に各学会の発展に寄与している。

大阪サクヤヒメ賞

池田（いけだ）　佳子（けいこ）

学校法人関西大学
国際部教授

国内外の大学で研究活動後、2009 年に関西大学国際部准教授、2015 年に同教授に就任。2019 年に国際グローバル教育イノベーション推進機構副機構長、2020 年に一般社団法人 Transcend-Learning 代表理事就任。国際教育・外国語教育・会話分析を専門とする研究者であるが、異文化コミュニケーション・人材育成への関心から、産・官との連携を重視した実践活動を推進。外国人留学生および外国人材の活路をコンソーシアムベースで開拓し、大阪・関西を世界で認知される地域・都市として変容する活動に貢献。世界の高等教育機関とオンラインで共修させる教育手法でグローバル人材育成にも尽力。

大阪サクヤヒメ賞

梅田（うめだ）　純子（じゅんこ）

国立大学法人大阪大学
接合科学研究所　准教授

海外商社等を経験後、東京大学特任研究員として民間企業への技術特許移転モデル構築を担当。大阪大学特任研究員として文系出身者ながら理系の道に入り、3 年後に工学博士を取得。研究所創設初かつ唯一の女性専任常勤教員として助教職に 7 年間就いた後に現職。2018 年に男女協働推進センター女性リーダー・次世代育成部門長に就任。総勢 500 名超が参加する女子中高生向けイベントの企画・立案から運営まで全般のマネジメントを行い、イベントを成功に導く等、男女協働推進に貢献。2020 年に女子大学院生の組織を設立、理系女性研究者のすそ野拡大を目指した活動を開始。

大阪サクヤヒメ賞

川竹（かわたけ）　絢子（あやこ）

一般社団法人inochi未来プロジェクト、WAKAZO
推進委員

2015 年の inochi 学生プロジェクト創設以来、団体運営に関与。2017 年に団体内で働く女性を対象にしたストレスマネジメント e-learning 教材開発プロジェクトを立ち上げ、プロジェクトリーダーを務める。2018 年にパリで開催された第 163 回 BIE 総会での日本チームのプレゼンテーションにて、関西の女子医学生を代表してプレゼンターを務め、2025 年大阪・関西万博の誘致成功と市民の機運醸成に貢献。2019年にWAKAZO 執行代表に就任し、全国 4 都市で「2025 年万博若者会議」を開催。同年大阪府の有識者委員に就任し、大阪府のビジョンづくりに携わる。2020 年に一般社団法人 inochi 未来プロジェクト推進委員に就任。

大阪サクヤヒメ賞

木坂（きさか）　葵（あおい）

千島土地株式会社
地域創生・社会貢献事業部 課長代理
一般財団法人おおさか創造千島財団事務局長

現代美術の展覧会やイベントなどを企画するフリーのアートコーディネーターとして活動後、千島土地株式会社に入社。同社が 23 万㎡もの土地を所有する北加賀屋エリアを創造活動によって活性化する事業に取り組む。工場や倉庫等の壁面を利用した壁画プロジェクトや、大型倉庫をアーティスト向け複合施設にリノベーションするプロジェクトを担当し、遊休不動産を活用したまちづくりを推進。2018 年におおさか創造千島財団事務局長に就任。各種助成事業やアーティストの海外派遣事業など財団の運営に取り組み、北加賀屋をはじめ大阪全体の創造活動の基盤づくりに貢献。

大阪サクヤヒメ賞

岸澤（きしざわ）　可乃（かの）

株式会社トウヨウ貿易
代表取締役

ブライダルコーディネーターや経理事務を経験後、子育てと両立しながら家業で海外取引のノウハウを体得。2008年に中古機械商社を設立し、代表取締役に就任。ベトナム、タイ、台湾等に販路開拓し、現地企業との取引を進めることで、創業 4 期目にグループで年商 7 億円達成。2017 年には東京と大阪の国内 2 拠点により年商 1 億円増額、2019 年に高度人材紹介業を開始し事業の幅を広げる。自社の海外人材が使いやすい休暇制度の導入や、機械営業では珍しい女性営業の活躍を促進し人材育成にも注力するほか、中古機械の輸出で途上国産業を支援するなど、SDGs にも取り組む。

大阪サクヤヒメ賞

國井（くにい）　美和（みわ）

住友電気工業株式会社
執行役員・広報部長

交通関連システムの機器開発等を経験後、2003 年より人事部で技術系の採用、人材開発に従事。2013 年にアメリカに駐在。2014 年に新設されたダイバーシティ推進グループのグループ長に就任。在宅勤務制度の導入では、2016 年の 20 人程度から、2019 年の 1000 名規模のトライアル実施を経て、2020 年 5 月に 5000 名弱が利用するまで対象範囲を広げた。女性社員に成長の機会が与えられるしくみを整え、女性管理職・ライン長は 2016 年の 8 名から 2020 年に 26 名に増加。2020 年社内初の女性執行役員に就任。自身の子育て経験もふまえ、技術系女性の活躍を支援する NPO 活動や講演等、社外活動も積極的に行う。

大阪サクヤヒメ賞

幸野（こうの）　江利子（えりこ）

ヒルトン大阪（大阪ヒルトン株式会社）
Folk Kitchen（フォルク キッチン）
オールデイダイニング　セクションシェフ

2001 年に西洋料理の調理師としてヒルトン大阪に入社後、数々の料理コンクールに入賞し、全国大会では女性初の優勝、また過去最高得点で優勝する。2006 年にスイスの 4 ッ星ホテルで研修を受け、帰国後は海外からの来日シェフとコミュニケーションを取り、子育てと両立しながら世界各国の料理を学ぶ。2019 年の G20 大阪サミットでは各国の大統領や、大臣、関係者達の料理のリクエストに答え、リーダーシップを発揮し成果を上げた。管理職としてワークバランスを考慮した業務体系を構築し、人材育成を強化。調理学校生の料理コンクール審査員など、若い世代育成の活動も行う。

大阪サクヤヒメ賞

中野（なかの）　佳代子（かよこ）

日本生命保険相互会社
サービス業務教育部　部長

1992 年入社。大阪本店で保険金支払部門を中心とした職務に従事。

2011 年に生命保険協会の「生命保険協会保険金部会長」に 100 年を超える歴史の中で初の女性部会長として就任。阪神・淡路大震災での経験を活かし、被災者のための「災害地域生保特約照会制度」を創設する等、業界全体の対応を牽引。その後、保険加入手続きのデジタル化を推進し、携帯端末の新契約申し込み画面のわかりやすさが高い評価を得る。2019 年にサービス業務教育部部長に就任。営業職員 5 万人を支える大阪本店での事務体制構築、全国の女性職員（約 7000 人）の育成や働き方改革、活動領域拡大を推進する。

大阪サクヤヒメ賞

槇山（まきやま）　実果（みか）

関西電力株式会社
執行役員
再生可能エネルギー事業本部　副事業本部長

1999 年に特別管理職登用後、地域共生・広報室広報宣伝グループチーフマネジャー等の広報業務に従事。グループ企業の経営を経て、2015 年 6 月、新設された再生可能エネルギー事業戦略室の事業戦略部長に就任。バイオマス発電の事業化、洋上風力や地熱発電への参画、太陽光発電の買収、陸上風力の開発など様々な電源開発に取り組み、3 件着工に至った他、今後事業化に至る開発推進案件を着実に積み上げた。2018 年 6 月に理事・再生可能エネルギー事業戦略室長に就任し、同社初の女性理事に抜擢。2020 年 6 月に現職に就任し、同社初の女性執行役員に抜擢。

大阪サクヤヒメ賞

吉田（よしだ）　優子（ゆうこ）

株式会社アッテミー
代表取締役

大手 IT 企業を退職し、高校生の時に抱いた「偏差値にあてはめるだけの進路指導を変えたい」との想いから府立高校内での就職指導の職へ転換。2 度の出産を経て、2019 年に株式会社アッテミーを設立。高校生に特化した就職指導や採用ノウハウを活かした講師業から、企業の採用コンサルティング事業へと発展させる。高校現場での経験を活かし、高卒就職の社会課題解決を目指した WEB サービスを創り、中小企業庁主催のビジネスプランコンテストで全国 1 位にあたる経済産業大臣賞を受賞。大阪府等と連携し、戦前から続く高卒就職の慣習を大阪から見直す活動に取り組む。

青山　ます美（あおやま　み）

株式会社 DACS
常務執行役員
システム企画部担当 兼 内部統制部長

2003 年にシステムエンジニアとして入社し、主力サービスの企画・開発等に携わる。2012 年に内部統制部長に就任。全社の統制強化を担い、各部の事業を支援。2017 年に執行役員に就任し、システム企画も兼務。コンプライアンス強化や社内システム基盤の信頼性向上に取り組むなど、総合的な視点からリスク管理体制強化に貢献。2019 年より現職。

秋田　絵理（あきた　えり）

湯本電機株式会社
総務部　部長

2007 年入社。総務・経理・人事に携わり、2011 年に最も功績を残した人に贈られる年間 MVP 獲得。2017 年に経営戦略室室長代理に就任。生産管理システムやビジネスチャット等、IT ツールの新規導入で社内労働環境の改善に貢献。2018 年に経営戦略室室長に抜擢され、ベトナム子会社設立の責任者として現地折衝に力を発揮。2019 年に同社初の女性部長に就任。

一居　みち子（いちい　こ）

株式会社関西みらい銀行
融資指導室　室長

1992 年に入社し、融資課に配属。2016 年から管理職として優良な貸出資産増強や融資業務の生産性向上に取り組み、新規融資先数の増加等、店舗表彰 4 期受賞に貢献。2019 年に新銀行の室長に就任し、合併から半年という短期間でのシステム統合に向け、融資運営体制の変革・融資人財の育成を押し進め、統合後の営業店支援において中心的な役割を担った。

糸井川　絵理（いといがわ　えり）

株式会社エニートホーム
代表取締役

2015 年より司法書士業務と並行して住居の再生活動を始める。2016 年に株式会社エニートホームを設立。築古・雨漏などで活用されていない住居を購入・再生し、社会的弱者の方々へ提供。空家問題と社会的弱者の方々を結びつけ、住環境の改善及び法務面からの支援を行い地域社会に貢献する活動を行っている。

稲葉　加代子（いなば　かよこ）

大阪シティ信用金庫
夢ふくらむ支店　支店長

1987 年入庫。育児休業後、営業課（預金業務）の統括責任者として業績伸展に貢献し、2016 年に支店長に就任。受付時間を短縮して早帰りができる雰囲気を醸成し、常態化していた残業を 1 人あたり月 25 時間から月 13 時間に削減した。経営課題について答申を行う「訪問委員会」の委員長を務め、経営層に対して女性活躍に関わる提言を行った。

梅元　理恵（うめもと　りえ）

公益財団法人大阪国際交流センター
常務理事　兼　事務局長

1989 年入職。外国人住民・留学生の相談対応や国際交流事業等の企画・運営を行う。育児休業取得後、事業再編を主導。2018 年 6 月に常務理事、同 7 月から現職。2019 年に「アイハウス多文化交流プラットフォーム」を立ち上げ、自国の文化紹介や日本での生活情報を動画で発信できる外国人を「達人」として紹介し、多文化共生のまちづくりを推進。

江連　美智子（えづれ　みちこ）

レンゴー株式会社
中央研究所　研究企画部企画第二課長

2001 年入社。軟包装に携わる新素材や新機能に関するパッケージ製品の開発を牽引。3 回の育児休業を経て 2015 年に研究職初の女性管理職に昇進。2018 年にライン長（課長）就任。環境対応型商品として企画した飲料用ラベルが世界包装機構主催の「ワールドスター賞」を受賞。同社の技術力アピールや部下のモチベーションアップに寄与した。

大西　順子（おおにし　じゅんこ）

一般社団法人大阪府宅地建物取引業協会
理事

1989 年に大西住建を創業。2004 年に株式会社大忠建設へ組織替し、代表取締役に就任。一般社団法人大阪府宅地建物取引業協会の支部役員となり、支部長を経て、2014 年に（本部）部会長に就任。イメージキャラクターを活用した PR 活動や地域交流事業を陣頭指揮し、同協会の認知度向上やイメージアップに貢献。2018 年に副会長、2020 年より現職。

大西　真紀（おおにし　まき）

損害保険ジャパン株式会社
神戸支店淡路支社　支社長

1998 年に地域限定事務職として入社。2011 年に本社の企画営業推進部門に異動し、営業戦略の立案・実行に携わる。2014 年より営業担当者として官公庁や医療マーケットを担当。医療従事者向けの団体保険商品の新設及び収益化などの業績が認められ、2019 年に関西地域で地域限定職初の営業部門管理職（課長職）に就任。

大八木　孝子（おおやぎ　たかこ）

リコージャパン株式会社
関西 MA 事業部　事業戦略部
S & S 支援グループ　リーダー

1988 年入社。業務、営業、戦略等、間接／直接部門の双方を経験。2019 年より間接部門の管理職として、組織の枠を超えた組織能力向上プロジェクトを主宰。個々のノウハウ共有、マルチスキル化により直接部門の業務の集約や標準化、打合せのリモート化や情報のデジタル共有化を進め、事業部の労働生産性が直近 3 年間で 1.5 倍向上に貢献。

岡崎　由美子（おかざき　ゆみこ）

株式会社ドコモ CS 関西
総務部　人事育成担当課長

1994 年に株式会社 NTT ドコモ入社。育児休業後、2012 年にオンライン受付順番予約サービスを導入し、来店者の待ち時間削減に貢献。企業主導型保育施設の開設やキャリア研修立ち上げ等、代理店スタッフの働きやすい環境整備を促進。2018 年から採用・社内人材育成を担当。女性キャリア研修を構築し、管理職をめざしたい女性比率を向上させた。

岡田　麻紀（おかだ　まき）

学校法人常翔学園　大阪工業大学
学生部　厚生課長

入試部、工学部勤務を経て、2013 年より学長室企画課にて、第 8 回大阪モーターショー出展等の大学広報活動、学内改革推進グループの運営、梅田新キャンパス開設に携わる。2017年より研究支援・社会連携センターで、大宮キャンパスの「旭区ブランド」認定等、連携先機関および大学双方の価値向上に貢献。2020 年より現職として奨学金業務を統括。

小島　ゆかり（おじま）

株式会社 COPEL コンサルティング
代表取締役

経済研究所で調査・研究等を経験後、2019 年に株式会社 COPEL コンサルティングを設立。産学連携のための専門家ネットワーク構築やライフサイエンス分野の人材育成等を行う。「子どもウェルネス創出事業化コンソーシアム」（主催：大阪市立大学）に参画し、子どもの健やかな発達に寄与する街づくり「子どもウェルネスによるコミュニティ・デザイン」を産学官連携で推進している。

神薗　英子（かみぞの　えいこ）

株式会社帝塚山ハウンドカム
取締役マネージャー

6 年間のトリマー経験を経て、2003 年に取締役就任。2005 年に白紙の状態から事業の 90%を占めるインターネット通販事業を構築。2015 年新ジャンルである「ペット用生肉」の市場開発を発案し、1 年半で売上高を 3 倍強に拡大するとともに、受注拡大に対応できるシステムを構築。ロールプレイング形式による勉強会の実施等、人材育成にも注力する。

神野　史麻（かんの　しま）

積水ハウス株式会社
プラットフォームハウス推進部　部長

建築系技術職として入社、戸建住宅や賃貸集合住宅の商品企画を担当してきた。柔軟な発想を活かし多様なプロジェクトで活躍の幅を広げる。2017 年新規事業検討メンバーに抜擢され、「人生 100 年時代の幸せをアシストする家」を目指すプラットフォームハウス構想に携わり、健康をテーマにした第一弾プロジェクトで主にアプリ開発を推進する。

久保田　伊津美（くぼた　いづみ）

株式会社電通キャスティングアンドエンタテインメント
関西支社長

株式会社電通に入社、2008 年に女性では 18 年ぶりの管理職に昇格。クリエーティブディレクターとして関西クリエーティブ局で 10 年以上トップの売り上げを誇り、国内外の数々の広告賞を受賞。スキルアップを目指し、キャスティングを専門とするグループ会社への出向を自ら志願、多くの話題作を手掛ける。2019 年に同社初の女性関西支社長に就任。

合田　由佳（ごうだ　ゆか）

大扇産業株式会社
専務取締役

1994 年入社。国際業務やマーケティング経験を活かし、新規事業立上げ等に従事。育児休業を取得後、中国工芸茶輸入販売事業の創業と同時に、マーケティング担当として復帰。2015 年常務取締役就任。現場を巻き込んだ製造原価の見直し等により経常利益率を 3.7%上げる。メンター制度、時短制度も導入し人材定着にも注力。2020 年より現職。

小林　真美（こばやし　まみ）

読者と著者の夢を叶える出版舎「夢叶舎」
代表　編集者

大手通販会社出版部勤務を経て、フリーの編集者として本づくりに関わる。2015 年末に「夢叶舎」を設立。印税はすべて著者に還元し、編集やデザインから出版、販売促進までを行うサービスを開始。2017 年～ 2020 年に電子と紙の本をあわせて 200 冊出版。絶版や本の買い取りリスクをなくし、低予算で本を出版することで表現者の自己実現を支援する。

坂本　祐子（さかもと　ゆうこ）

フラワーアンドグリーンプランニング
代表

大手広告製作会社を経てフラワーアーティストに師事。2004 年個人事務所設立。商業施設のディスプレイやイベントの企画・製作を行う。2014 年あべのハルカスのオープニングセレモニーのフラワープロデュースを担当。同年より「テラリウム」の製作をはじめとした、ライフスタイルを豊かにする植物の楽しみ方を発信する活動を展開する。

佐藤　菊美（さとう　きくみ）

株式会社カジテック
商品部　執行役員

1971 年に経理部員として入社後、1974 年より 31 年間営業アシスタント業務に従事。2005 年に商品部へ異動し、新規顧客等の販売活動を担当。同社営業員で唯一個人年間利益予算を 15 期連続で達成し、同社の利益拡大に大きく貢献。2017 年に執行役員就任。若手から目標とされる存在になり、同社の女性社員比率は 2012 年の 26.8%から 2020 年の 46.0%に増加した。

澤田　道代（さわだ　みちよ）

大阪信用金庫
女性活躍サポートセンター　得意先係　主査

1994 年、本店営業部預金係として入庫。女性職員は内勤事務が当たり前だった時代に、2015 年に子育てをしながら、投資信託アドバイザーに就任。丁寧な応対により顧客との信頼関係を築き、お客様係として一度の苦情も出さず、月間目標の 1.5 倍以上の成約を獲得することで 4 年間に 6 回の上位表彰を受けた。2019 年に女性初の得意先係リーダーに就任する。

正見　さおり（しょうけん）

田辺三菱製薬工場株式会社
試験分析センター
分析グループマネージャー

健康食品や一般用医薬品等の分析研究部門に入社。工場や本社など関東で数回の転勤を経て、田辺三菱製薬株式会社分析研究所への出向を機に 10 年前から大阪へ拠点を移す。試験方法変更のプロジェクトリーダーを経験。2014 年本社管理職に登用され、工場勤務を経て現職。得意分野を基に、提携先も含めた教育体制の確立・人材育成にも尽力。

榛葉　久美子（しんば　くみこ）

NTT ビジネスソリューションズ株式会社
関西支店　大阪第二ビジネス営業部長

1992 年入社。営業の最前線で経験を積む。2010 年に当時まだサービス導入期であった「IP 電話」を社会に普及させ、通信市場の進歩と顧客の利便性・経済性向上に大きく貢献。2012 年に NTT グループ会社のコールセンタシステムを始めとするクラウドサービス等の立ち上げプロモーションに携わり、グループの事業拡大に貢献。2018 年より大阪の中堅中小企業向けのセキュリティ対策やテレワーク等の情報通信システムの営業部門責任者として、グループ会社を含む部下約 600 名を統括する。

高島　公美（たかしま　くみ）

関西テレビ放送株式会社
制作局制作部長

1988 年入社。番組制作の実績を積み、営業の部次長・経営企画部長を経て 2017 年に、キー局や他の準キー局に先駆けて女性として初の制作部長就任。社内外のスタッフを束ねて、レギュラー 12 番組をはじめバラエティ・情報番組の制作を統括。働き方改革やモチベーションアップの施策を実施し、番組強化と視聴率向上を実現した。女性活躍推進や業界の人材育成にも取り組む。

太口　理恵（たぐち　りえ）

株式会社サンデザインアソシエーツ
執行役員

中途採用で経理課に入社。経理、総務、人材採用等の幅広い業務を担当。受注から請求まで一括して作成できる販売管理システムを構築し、事務時間の大幅削減を実現した。デザイン業界で多かった深夜残業や休日出勤の働き方の意識改善と改革に取り組んだ。時短社員と通常勤務社員の納得感を大切に評価制度を改定した。

谷口　真由美（たにぐち　まゆみ）

公益財団法人日本ラグビーフットボール協会
理事／新リーグ法人準備室室長

大学でジェンダー法などの教鞭をとる傍ら、2012 年から 2019 年まで国内外約 6000 人が意見交換する WEB 上の女性グループ「全日本おばちゃん党」を運営。テレビやラジオでも女性の社会的立場について発信。ラグビーの造詣が深く、女性 7 人制ラグビーチームの理事や日本ラグビー協会の理事に就任し、2022 年 1 月開幕予定のラグビー新リーグの準備等に携わる。

玉井　恵美子（たまい　えみこ）

株式会社池田泉州銀行
梅田支店・支店長

一般職として入行後、13 年目に総合職へ転換。支店長公募にチャレンジし、将来の幹部候補として本部の複数部署を横断的に経験するプロジェクトに抜擢。2015 年に預金業務キャリアのみから初の支店長に就任。営業・融資の経験不足を周囲への相談と努力でカバーし、きめ細やかな対応で顧客の支持を大きく引き上げ、業績向上に貢献した。

辻　真名美（つじ　まなみ）

株式会社かんでんエンジニアリング
診断部分析グループ
グループマネジャー

植物の品質改良の研究員として入社。油入電気設備保守管理部門を経て、機器分析分野に異動。コア技術を改良する研究を完遂し、油入変圧器の分析・診断技術拡充を実現。顧客に新規分析方法採用を提案し、顧客と会社のコスト低減に貢献した。2019 年に管理職登用。若手社員に業務を任せ、自ら考え行動する習慣付けを浸透させるなど、後進の育成に尽力する。

戸島　咲枝（としま　さきえ）

フセハツ工業株式会社
経営企画部　企画課長

製造業で事務等を経験後、子育て期間を経て 2012 年に入社。営業事務やインターネット営業を担当。WEB マーケティングを独学で勉強し、ばね製造の現場動画等を配信し、Facebook のフォロワー数 2300 人、Twitter のフォロワー数 2.5 万人を獲得し、売り上げ増に貢献。小学校でのものづくり人材育成、工場見学による東大阪のものづくりの海外発信にも取り組む。

藤原　愛子（ふじわら　あいこ）

三井住友海上火災保険株式会社
関西企業自動車損害サポート部
中之島中央保険金お支払センター　所長

1996 年入社。自動車保険金支払部門でケガの定額給付金担当者として全国 1 位を獲得。育児休業後、管理職補佐となり、2014 年新規部署立上げと女性社員の育成にあたる。積極的に社外へ出て顧客対応を行うなど、業務領域に枠を設けず新しい業務に挑戦し、女性社員の働き方・社外からのイメージを変革。2020 年より管理職に登用され現職。

松田　有紀（まつだ　ゆき）

イカリ消毒株式会社
さくらいふ推進室
大阪版食の安全安心認証制度審査員

寿司屋等での勤務を経て 2016 年に入社。大阪版食の安全安心認証制度の認証審査員として活動。食品衛生指導員等の資格を取得し、120 施設を管理することで、食品事業者の経営向上に寄与。社内の女性グループ「さくらいふ」の中心メンバーとして、自ら時間や場所に制約されずに働き成果を出すことで、働き方改革の認証取得にもつなげた。

松永　弥生（まつなが　やよい）

一般社団法人痴漢抑止活動センター
代表理事

2015 年に友人の娘が考案した「痴漢防止バッジ」に感銘を受け活動を開始。クラウドファンディングで資金を集め、デザインを公募し、バッジ 5 作品を商品化した。2016 年にセンターを設立。過去 5 回開催した「痴漢防止バッジデザインコンテスト」には累計約 6,000 人の学生が参画。学校や鉄道会社、行政を巻き込み、痴漢防止の啓蒙活動を展開する。

三木　奈津世（みき　なつよ）

株式会社フジプラス　営業本部
カスタマーサービスグループ 1 チーム
GM

2006 年入社。トップクライアントの実務担当リーダーとして、製作期間約 1 年に及ぶ数千ページの印刷物を毎年完結させて継続受注に繋げ、売上に大きく貢献。2017 年に営業部門で女性初の管理職に就任。短時間勤務社員のキャリアアップと育児の両立を目指した体制を構築。新入社員研修の講師や大学のキャリアデザイン講義等人材育成にも尽力。

村上　良子（むらかみ　よしこ）

社会保険労務士法人 PAL
マネージャー

社会保険労務士資格取得後、結婚を機に大阪へ転居し、社会保険労務士事務所に入所。手続き業務等に従事後、2018 年よりコンサルティング業務にも携わる。育児・介護休業規程整備等、中小企業の両立支援体制の整備や、ハラスメント対策研修等に注力してきた。今後は、中小企業での社内キャリア支援体制構築にも力を入れていく。

茂木　麻美子（もぎ　まみこ）

株式会社大林組
建築事業部設備設計部　副部長

1990 年入社。特殊な要件への対応が要求される医薬品製造施設の設計に早くから抜擢され、育児と両立しながら専門技術を蓄積。現在はリーダーとしてチームを束ねるとともに、医薬品製造施設の設計管理手法を他の施設に水平展開し、複雑化多様化する建築物のニーズへの対応に取り組む。2014 年から一般社団法人建築設備技術者協会の運営に参画。

森下　美菜（もりした　みな）

株式会社ミナコーポレーション
代表取締役

2015 年に法人化し、女性を主なターゲットにしたスマホケースや雑貨をデザインから製造・販売する。他にはない、高付加価値の商品提供をし、満足度の追求を目指している。社員全員が女性で、各自が自身のスキルを生かしつつ、子育てや家事をしながら仕事ができる、ワークアンドライフバランスを実践した勤務体系の構築をしている。加えて、一人ひとりが仕事を通じて人間成長できる人材育成に注力。2017 年に大阪府主催「Booming ！」で成長性のある企業 60 社中上位 10 社に選ばれた。

森山　けい子（もりやま　こ）

有限会社魚竹蒲鉾店
専務取締役

専門店の店長を 5 年間経験後、育児休業取得。復職後、営業・企画・人事・労務・経理と多岐にわたる業務を先代から継承。2018 年役員に就任。ブランディングによる企業価値向上に注力し、地産地消の創作練天が「大阪もん」に認定される。高齢従業員の要望を受け定年の廃止に踏み切り、介護との両立や企業内の育児休業取得も促進する。

山野　公子（やまの　きみこ）

有限責任あずさ監査法人
第3事業部　シニアマネジャー

入所当時より監査業務中心に取り組み、グローバルに展開する上場会社の管理職を 5 年間務め、監査報酬増額に貢献。育児休業取得後、2019 年から時短勤務をしながら連結子会社 50 社以上を抱える大規模上場会社の管理職を務める。法人のダイバーシティ推進担当として、働きながら不妊治療に取り組める施策を提言する等、多様な働き方を促進。

善本　かほり（よしもと）

有限会社 arec
代表取締役

2003 年に不動産鑑定業を起業。精緻な調査を通じて不動産の取引及び価格の安定、行政財産の適正な処分に寄与する。社会人大学院で公共政策分野の都市政策修士を取得し、地方行政に各種委員として参画。公益社団法人大阪府不動産鑑定士協会の副会長として、企業の保有資産の価値を簡便に把握できるアプリの開発等の活動に取り組む。

渡辺　幸代（わたなべ　さちよ）

南海電気鉄道株式会社
ブランド統括部　部長

繊維業界で商品企画等を担当し、子連れ転勤を経験。2018 年に入社後、「南海ブランド委員会」を設置し、ブランド戦略の立案やブラブランドスローガンの策定に取り組む。ブランドブック配布や研修・説明会の実施、ブランド向上社内活動「なごみときめき活動」の開始など新規施策を順次打ち出し、ブランドに対する社内認知・理解を進めた。

大阪サクヤヒメ大賞受賞者

大阪サクヤヒメ賞受賞者

活躍賞受賞者

表彰概要

大阪サクヤヒメ表彰について

企業活動や文化的活動で活躍する女性リーダーを表彰する制度で、佐藤茂雄前会頭の顕彰事業として 2016 年度に創設。

2016 年度～ 2020 年度に受賞された皆様とともに、今後も情報発信をはじめとした、さらなる女性活躍推進事業に取り組んでまいります。

表彰の種類

大阪サクヤヒメ大賞・大阪サクヤヒメ賞・活躍賞

表彰対象

下記のいずれかに該当する方。

○本会議所法人・団体会員に属する女性役員または女性管理職・管理職に相当する高度な専門職
○本会議所個人会員である女性個人事業者
○大阪に活動拠点をもち文化的活動に携わる女性で本会議所会員の推薦を受けた方

選定方法

「大阪サクヤヒメ表彰選定委員会」にて、業績および
①人材育成・ワークライフバランス
②社会貢献・都市魅力向上
のいずれかの活動項目に基づき審査 (1 次審査：書類選考、2 次審査：書類・インタビュー動画選考) を行う。

第 5 回大阪サクヤヒメ表彰　表彰式・歴代大賞受賞者パネルディスカッション

2020 年 10 月 8 日（木）　大阪商工会議所

第 5 回大阪サクヤヒメ表彰　記念フォーラム

2021 年 2 月 25 日（木）　大阪商工会議所

（本冊子に記載の情報は 2021 年 1 月現在のものです。）

大阪商工会議所　人材開発部　研修・採用支援担当
「大阪サクヤヒメ表彰」係
〒 540-0029　大阪市中央区本町橋 2-8
TEL　06-6944-6499

［HP］http://www.osaka.cci.or.jp/osakasakuyahime/
［Facebook］https://www.facebook.com/osakasakuyahime/

HP

Facebook